

事業シート①

【平成20年度】

課コード	001901	作成日	平成21年8月28日
所属名	農業水産課	作成者	根本 紀房

事業名		戦略性	
フラワー・フルーツパーク事業			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
市の施策の補完として設置されたフラワーパーク及びフルーツパークについて、市の役割を果たすことで市民が憩い集う公園としての機能、館山寺及び都田地域の観光を振興する機能、花卉及び果樹農業を振興する機能を一層発揮させることを目的とする。		年	年
活動内容【イン・プット】			
<p><維持管理> フルーツパーク内の市が所有する果樹施設や展示温室等の管理委託をおこなうこと。フルーツパーク内の借地契約を締結した地権者に対し賃借料を支払うとともに必要な場合土地の買収を行うこと。フラワーパークとフルーツパークの新たな運営形態への転換（資産の移管も含む）に向けて調査等を実施すること。</p> <p><フラワーパーク運営支援> フラワーパークにかかる借入金元金償還及び利息、固定資産税等の公課費などを算出基礎として、包括的な運営支援を行うもの。</p> <p><フルーツパーク運営支援> フルーツパークにかかる借入金元金償還及び利息、固定資産税等の公課費などを算出基礎として、包括的な運営支援を行うもの。</p>			
事業の性格分類		実施根拠(法令、条例等)	
<input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的事业		新市建設計画事業 ×	ワークショップ提案事業 ×
事業運営方法			
<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等			

平成20年度のコスト【イン・プット】

事業費(千円)		財源(千円)		職員人件費(千円)		8,000
計	1,313,699	計	1,313,699	内訳	正規職員(人工)	1.0
人件費	0	国庫支出金	0		非常勤職員(人工)	0.0
扶助費	0	県支出金	0		再任用職員(人工)	0.0
物件費	89,862	内訳	市債	0	年間経費(千円)	1,321,699
維持補修費	1,187		受益者負担金	0	受益者負担率(%)	0.0
補助費等	1,219,718		その他	3,444		
その他	2,932		一般財源	1,310,255		

定量評価

指標1【アウト・プット】		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
フラワーパーク及びフルーツパークの年間入園者数(実績・目標)	目標	人	600,000	600,000	600,000	440,000	600,000
	実績	人	540,528	546,100	518,902		
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円	1,179,732	1,140,272	1,321,699	1,091,842	1,091,842

指標2		単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%					
	実績	%					
年間経費(事業費・人件費の合計)		千円					

定性評価

事業目的の達成状況	<p>市の施策の補完施設として昭和45年度にフラワーパーク、平成8年度にフルーツパークが開園した。両施設とも市の補完施設としての役割を果たすことで市民が憩い集う公園として、館山寺及び都田地域の観光の拠点としての機能、花卉及び果樹栽培の振興としての機能を併せ持っている。運営については、(財)浜松市フラワー・フルーツパーク公社が行っており、市は開設者として助成を実施してきた。しかし、近隣に無料の県営施設が開園した事やライフスタイルの変化等に伴い入場者が伸び悩んでいる。こうしたことから、動物園との一体化や資産移管のシミュレーション、借地問題等も含め解決策の協議を行った。</p>
-----------	---

内部評価の結果

(1)必要性		(理由)		
C 継続	A 終了 B 廃止 C 継続	市の施設を補完する施設として設置された両施設を運営する公社は、「浜松市土地開発公社等の事業の総合調整及び助成に関する条例」に規定されたいる団体である。また、館山寺、都田地域の観光、農業振興の立場、市民の憩いの施設としての位置付けから両施設は必要である。		
(2)実施主体		(理由)		
C 市	A 民間(民営化) B 国、県、広域 C 市	現在の運営は、フラワー・フルーツパーク公社が実施しているが、「浜松市土地開発公社等の事業の総合調整及び助成に関する条例」第4条に基づき公社が運営に要する経費について予算の範囲内で助成することができるよう規定されている。		
(3)選択と集中		(理由)		
B 現状	A 拡大(予算) B 現状(予算) C 縮小(予算)	フラワーパーク、フルーツパークの両施設は、「浜松市土地開発公社等の事業の総合調整及び助成に関する条例」第1条の目的で市行政との調製を図るとともに事業の円滑な運営に必要な助成を行い、市の発展に寄与することを目的としているため、最低限の現状維持とする。		
(4)改善		(理由)		
A 改善あり	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 一部廃止 <input type="checkbox"/> 一部民営化 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input type="checkbox"/> 現状 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 一部廃止 <input type="checkbox"/> 一部民営化 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善	今年度中に両施設の存廃を決定する予定であるが、現在のフラワー、フルーツパーク公社に運営を任せるかについては、今後検視等の余地がある。
<input type="checkbox"/> 一部廃止 <input type="checkbox"/> 一部民営化 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善			
今後の事業展開				
今後の方向性		(理由)		
C 改善	A 拡大 B 現状 C 改善 D 廃止	フラワーパーク、フルーツパークを建設した当時の経緯、農業振興の立場、市民の憩いの場の創出等多方面から検討すると市からの助成は今後も必要であり、継続的に支援していく必要がある。 時代の変化に伴い花き園芸の拠点としての位置付けは薄れたため、フラワーパークを館山寺地域の主要観光拠点として位置付け、「館山寺総合公園」として、効率的な管理を図る。		
今後の方向性を実現するための具体的取り組み(何をいつまでにどうするか)				
フラワーパーク、フルーツパークの運営及び管理状況について、施設の公益性や収益性の観点から検証を行い、平成21年度中に施設の存廃について結論を出し、今後の方向性を明確にする。 また、現在のフラワーパーク、フルーツパークの借地の状況を踏まえ、平成21年度中に決定する施設の存廃の結論に基づき、速やかに借地の計画的な解消を図る。 これまでのフルーツパークの使命を見直し、新たな運用による施設の機能転用の方向性を平成21年度に見出していく。その中で、今日、農業政策に求められている「新たな担い手の育成(新規就農促進等)」に寄与する機能も含め検討する。				
今日まで、両施設が関わってきた館山寺、都田地域の観光業への寄与、地域の核施設としての位置付、西区の主要農作物である花卉、北区の主要農産物としての果樹等地域の農業振興への影響度等を総合的に判断すると現時点で簡単には廃止すべきでない。				

事業名	
フラワー・フルーツパーク事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
フルーツパーク維持管理事業	×

事業目的	フルーツパーク内の施設を適切に維持管理し、果樹農業振興に寄与する。						
対象	フルーツパーク入園者						
内容	フルーツパーク利用者に対して農業振興施設において、果樹の展示やせん定教室等栽培教室の実施、果実の収穫体験を行っている。農林業体験実習館においても園内産等の果実を利用した料理教室及び各種講演会を開催している。						
効果	平成19年度の有料入場者数203,944人に対して、平成20年度は198,377人と約2.7%の減であるが、農林業体験実習館の利用者数が、平成17年度783人、平成18年度1,173人、平成19年度1,333人に対し、平成20年度は1,585人と前年度比較では約18%増加しており、体験実習館の目的である各種教室を通して果樹の需要拡大や果樹農業の栽培技術の向上を図る効果は挙げていると思われる。						
コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	¥96,141	¥1,600		¥89,861	¥1,188	¥560	2932

評価

(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化)	<input type="checkbox"/> 国、県、広域	<input checked="" type="checkbox"/> 市
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算)	<input type="checkbox"/> 縮小(予算)
(4)改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり	改善策	
	<input type="checkbox"/> 改善なし	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化
		<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働
		<input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 非常勤化
			<input type="checkbox"/> 民間委託
			<input checked="" type="checkbox"/> その他改善
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input checked="" type="checkbox"/> 改善
			<input type="checkbox"/> 廃止

具体的取り組み

平成17年度行政経営計画の実施計画では、平成20年度までに委託料を2.5%(1,734千円)減が目標であったのに対し、現状は、平成17年度から平成20年度までに約5%の削減がされている。フルーツパーク維持管理費の平成20年度予算残額を見直し、平成22年度の予算を計上する。

廃止できない理由

フルーツパーク内にある市の施設は、地域農業に役立つ高品質な果実の生産、特産果樹の育成、または果樹農業の栽培技術向上など農業振興を担うとともに、市民の憩いの場として提供しているため。

事業名	
フラワー・フルーツパーク事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
フラワーパーク運営支援	

事業目的	フラワーパークの整備等を通じて、施設の魅力向上と入園者増を図り、公社の経営健全化を推進						
対象	市民						
内容	<p>主な内容</p> <p>(1)花き類の栽培展示 早咲き菜の花1万本、10万球のチューリップの展示等を行い、桜まつり&チューリップフェア期間中98,512人(3月含む)の入園者があった。【アウトプット】</p> <p>(2)鑑賞、散策及び研修用施設の運営管理 夜間開園(夜桜開園、蛍の夕べ、クリスマスイルミネーション)を開催し、58,637人入園者があった。【アウトプット】</p> <p>(3)花きの栽培技術の指導 園芸相談150件、中高生等の体験学習として、22校96人を受け入れた。【アウトプット】</p> <p>(4)花きの優良種苗の生産及び配布 キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定を行った。【アウトプット】</p> <p>(5)その他目的を達成するために必要な事業 ボランティア受け入れ及び育成として、園芸ガイド延べ738人、園芸作業延べ727人が参加した。【アウトプット】</p>						
効果	<p>入園者数【アウトプット】</p> <p>有料入園者数 320,525人</p> <p>無料入園者数 61,391人</p> <p>合計入園者数 381,916人</p>						
コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	¥426,817	¥3,200	¥0	¥0	¥0	¥423,617	

評価							
(1)必要性	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 継続				
(2)実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化)	<input type="checkbox"/> 国、県、広域	<input checked="" type="checkbox"/> 市				
(3)選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算)	<input type="checkbox"/> 縮小(予算)				
(4)改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり	改善策					
	<input type="checkbox"/> 改善なし	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託		
		<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input checked="" type="checkbox"/> その他改善			
		<input type="checkbox"/> 現状					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 廃止			
具体的取り組み	施設の公益性や収益性についての検証を行い、平成21年度中に園の存廃についての結論を出す。						
廃止できない理由							

事業名	
フラワー・フルーツパーク事業	
活動内容に記載した事業名	一市多制度
フルーツパーク運営支援事業	

事業目的	フルーツパークの整備等を通じて、施設の魅力向上と入園者増を図り、公社の経営健全化を推進						
対象	市民						
内容	<p>主な内容</p> <p>(1) 果樹類の栽培展示 収穫体験を重視した樹種・品種変更等を実施し、リンゴ1品種7本を植替、カキ2品種8本を高接更新した。</p> <p>(2) 鑑賞、散策及び研修用の施設の運営管理 農産物の調理加工講習会を29回開催し、327人が参加した。</p> <p>(3) 果樹の栽培技術の指導 家庭果樹栽培教室(7回、229人)、果樹栽培実習(3回、95人)、果樹剪定教室(10回、345人)、接木教室(2回、69人)などを実施した。</p> <p>(4) 果樹の優良品種の生産及び配布 浜松市農業バイオセンターと連携し、組織培養による果樹の育苗技術の研究を行った。</p> <p>(5) その他目的を達成するために必要な事業 体験実習館クッキング教室(18回、839人)、都田川の川遊び(9, 067人)、デイキャンプ施設の運営(542組、4, 602人)などを実施した。</p>						
効果	<p>入園者数</p> <p>有料入園者数 198, 377人</p> <p>無料入園者数 61, 357人</p> <p>合計入園者数 259, 734人</p>						
コスト(千円)	総額	人件費	扶助費	物件費	維持補修	補助費等	その他
	¥798,741	¥3,200	¥0	¥0	¥0	¥795,541	
評価							
(1) 必要性	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 継続				
(2) 実施主体	<input type="checkbox"/> 民間(民営化)	<input type="checkbox"/> 国、県、広域	<input checked="" type="checkbox"/> 市				
(3) 選択と集中	<input type="checkbox"/> 拡大(予算)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状(予算)	<input type="checkbox"/> 縮小(予算)				
(4) 改善	<input checked="" type="checkbox"/> 改善あり	改善策					
	<input type="checkbox"/> 改善なし	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 民営化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 民間委託		
		<input type="checkbox"/> 受益者負担	<input type="checkbox"/> 協働	<input checked="" type="checkbox"/> その他改善			
		<input type="checkbox"/> 現状					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 廃止			
具体的取り組み	施設の公益性や収益性についての検証を行い、平成21年度中に園の存廃についての結論を出す。						
廃止できない理由							

政策・事業外部評価結果報告シート

事業名	フラワー・フルーツパーク事業			
所管課名	農業水産課			
内部評価 (外部評価前)	方向性	理由		
	現状	フラワーパーク、フルーツパークを建設した当時の経緯、農業振興の立場、市民の憩いの場の創出等多方面から検討すると市からの助成は今後も必要であり、継続的に支援していく必要がある。		
外部評価	【採点結果】 4点満点			
	①事業の目的や内容が理解できたか	②事業の達成状況や効果が理解できたか	③内部評価の結果とその理由は妥当か	総合評価(平均)
	3. 3	2. 8	2. 8	3. 0
	【主な意見】			
今後の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ フLOWERパークについては、市民の憩いの場、青少年の健康・情操の涵養、花き園芸の振興拠点、浜名湖館山寺温泉の観光施設との位置付けで昭和45年に開園しました。しかし、時代の変化に伴い花き園芸の拠点としての位置付けは薄れたため、フラワーパークを館山寺地域の主要観光拠点として位置付け、「館山寺総合公園」として、効率的な管理を図っていきます。 ・ フルーツパークについては、果樹農業の拠点施設、果樹栽培技術の実証、地域の農家所得の増大、消費者との交流促進などを目的に平成8年度に開園しました。今後は、これまでのフルーツパークの使命を見直し、新たな運用による施設の機能転用の方向性を平成21年度に見出していきます。その中で、今日、農業政策に求められている「新たな担い手の育成(新規就農促進等)」に寄与する機能も含め検討していきます。 ・ 外部評価については、3. 0点とやや厳しい採点結果と受け止め、点在する借地の解消や施設運営のあり方等、市民に魅力ある施設として存続できるよう、早急に検討していきます。 			